

名 称	記 号	短期許容耐力 (kN)			接 合 具
		D.Fir-L ベイマツ類 ^{*1}	Hem-Fir ヒノキ類 ^{*2}	S.P.F スギ類 ^{*3}	
柱 脚 金 物	PB-33	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(1本)
	PB-42	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(2本)
柱 頭 金 物	PC	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(24本)
帯 金 物	S-45	2.5	2.3	2.0	太めくぎZN40(6本)
	S-50	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(12本)
	S-65	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(15本)
	S-90	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN40(12本)
	SW-67	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(26本)
	ストラップアンカー	SA-65	10.3	9.3	8.1
あおり止め金物	TS	3.4	3.1	2.7	太めくぎZN40(8本)
	TW-23	4.3	3.8	3.3	太めくぎZN40(10本)
	TW-30				
か ど 金 物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎZN65(10本)
	CP・T				
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又は ラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又は ラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又は ラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又は ラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

(注1) 耐力の算出方法は、(一社)日本建築学会発行1988「木構造計算規準・同解説」による。

(注2) PCは、2枚組で使用する値である。SA-65に使用する座金は、平座金W1.6×23とする。

(注3) SA-65以外の接合金物に座金を使用する場合は、角座金W4.5×40以上とする。

(注4) ※1 ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ

※2 ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ

※3 スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース

これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

名 称	記 号	長期許容耐力 (kN)			接 合 具
		D.Fir-L ベイマツ類 ^{*1}	Hem-Fir ヒノキ類 ^{*2}	S.P.F スギ類 ^{*3}	
根 太 受 け 金 物	JH-S204・206	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎZN40(8本) 根太へ太めくぎZN40(8本)
	JH204・206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎZN40(6本) 根太へ太めくぎZN40(4本)
	JH2-204・2-206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎZN65(6本) 根太へ太めくぎZN65(4本)
	JH208・210	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎZN65(8本) 根太へ太めくぎZN40(6本)
	JH212	4.3	3.8	3.3	端根太へ太めくぎZN65(10本) 根太へ太めくぎZN40(6本)
	JHS208・210R				
	JHS208・210L				
梁 受 け 金 物	BH2-208	4.3	3.8	3.3	受材へ太めくぎZN65(10本) 梁へ太めくぎZN65(6本)
	BH2-210				
	BH2-212	7.5	6.8	5.8	受材へ太めくぎZN90(12本) 梁へ太めくぎZN65(6本)
	BH3-208	8.7	7.9	6.8	受材へ太めくぎZN90(14本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH3-210				
	BH3-212	10.0	9.1	7.8	受材へ太めくぎZN90(16本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH4-208	8.7	7.9	6.8	受材へ太めくぎZN90(14本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH4-210				

名 称	記 号	長期許容耐力(kN)			接 合 具
		D.Fir-L ベイマツ類 ^{*1}	Hem-Fir ヒノキ類 ^{*2}	S.P.F スギ類 ^{*3}	
梁 受 け 金 物	BH4-212	10.0	9.1	7.8	受材へ太めくぎZN90(16本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BHS2-210R	5.1	4.6	4.0	受材へ太めくぎZN65(12本) 梁へ太めくぎZN65(4本)
	BHS2-210L				
ま ぐ さ 受 け 金 物	LH204	2.5	2.3	2.0	たて枠へ太めくぎZN65(6本) まぐさへ太めくぎZN65(2本)
	LH206	4.3	3.8	3.3	たて枠へ太めくぎZN65(10本) まぐさへ太めくぎZN65(2本)

(注1) 耐力の算出方法は、(一社)日本建築学会発行1988「木構造計算規準・同解説」による。
 (注2) JH-S 204・206は、2枚組で使用する値である。
 (注3) ^{*1} ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
^{*2} ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
^{*3} スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
 これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

アンカーボルト

名 称	記 号	円周の長さ(mm)	定着長さ(mm)	短期付着応力度(N/mm ²)	短期付着耐力(kN)
アンカーボルト	M12 [*]	10.7 [*] ×3.14	232	2.16	16.8
	M16	16×3.14	312		33.8

(注1) アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、国土交通省告示第1024号第15号の規定による。なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。
 (注2) ^{*}アンカーボルトM12は有効径六角ボルト(JIS B 1180附属書JA:2014)が主流であることから、胴部径は10.7mmである。

接合具

(単位/kN)

名 称	記 号	樹 種			主 な 用 途 等
		D.Fir-L ベイマツ類 ^{*1}	Hem-Fir ヒノキ類 ^{*2}	S.P.F スギ類 ^{*3}	
太 め く ぎ	ZN40	0.86	0.77	0.68	長期許容せん断耐力の値は、表値の1/2とする。鋼板添え板のため、25%割増しによる数値とする。
	ZN65	0.86	0.77	0.68	
	ZN90	1.26	1.14	0.98	
	ZN80	1.96	1.77	1.54	
スクリークぎ	ZS50	1.48	1.34	1.17	
角 座 金	W4.5×40×φ14	9.60	8.32	6.40	めり込み耐力以下の引張りを 受けるボルトM12用の座金
	W6.0×60×φ14	21.60	18.72	14.40	
	W9.0×80×φ18	38.40	33.28	25.60	めり込み耐力以下の引張りを 受けるボルトM16用の座金
	W6.0×54×φ18	—	—	—	HD-B、HD-Nの専用座金
丸 座 金	RW6.0×68×φ14	21.77	18.87	14.51	めり込み耐力以下の引張りを 受けるボルトM12用の座金
	RW9.0×90×φ18	38.14	33.06	25.43	めり込み耐力以下の引張りを 受けるボルトM16用の座金
	RW6.0×40×φ17	—	—	—	HD-Sの専用座金
座金付きボルト	M16W	38.40	33.28	25.60	ホールダウン金物用の接合具
平 座 金	W1.6×23×φ9	—	—	—	SAの専用座金

(注1) 座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。
 (注2) 太めくぎ及びスクリークぎの耐力は、枠組材と接合具を直接接合した場合の耐力である。
 (注3) ^{*1} ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
^{*2} ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
^{*3} スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
 これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

Z
マ
ー
ク
表
示
金
物

C
マ
ー
ク
表
示
金
物

各
種
金
物

仕
様
図
・
デ
ー
タ

参
考
資
料

会
社
案
内